

ダウンウォール 取扱説明書

このたびは、ダウンウォールをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。

安全上の注意

■絵表示について

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人への危険や財産への被害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。
その表示と意味は以下のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。



禁止

この記号は、禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近くに具体的な禁止内容が表示されています。



注意

積載荷重（収納できる重さ）は、15kgまでですので、この範囲以内でお使いください。
（上棚7.5kg、下棚7.5kg以内）
また、急激な出し入れはしないでください。

●出し入れが重くなったり、故障の原因になります。



初期状態では操作補助力の設定が”少ない”になっております。荷物の量に応じて必ず補助力調整をしてください。補助力調整をしないと収納ラックがいきおいよく動きケガをする恐れがあります。収納ラックは必ず両手で持ちゆっくりと操作してください。また、動作の途中では絶対に手を放さないでください。

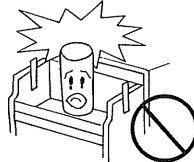
ピンなどの不安定なものや、包丁・薬品などの危険なものを収納しないでください。

●落下による事故の原因になります。



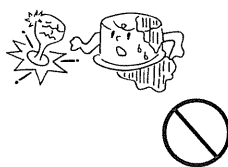
収納物が高さガイドより上へ出たり、底面・背面のすきまよりズレださないようにしてください。

●破損・落下や事故の原因になります。



割れやすい食器や、ぬれたもの、すべりやすいものを収納しないでください。

●破損・落下による事故やサビの原因になります。



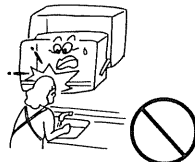
収納ラックの取っ手にぶらさがらないでください。

●危険であり、故障の原因になります。



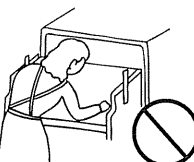
調理作業時などは、収納ラックを降ろしたまま放置しないでください。

●頭などをぶつける恐れがあります。



収納ラックを下げた状態でラックの上部からのぞき込んだり、手を入れたりしないでください。

●手や指、頭をはさんで大ケガをする恐れがあります。



使い方

操作方法【図1】

両手で取っ手を持ち、収納ラックをゆっくり手前に引き降ろします。
①の位置で「カチッ」という音とともにロックがかかり収納ラックが上がらなくなります。

▲注意

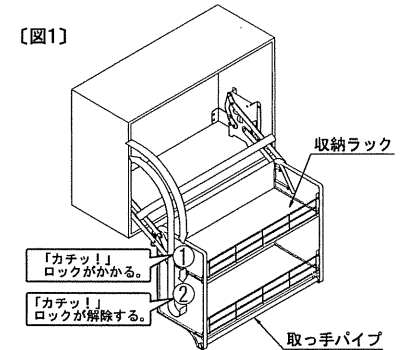
ロックがかかった状態では、絶対に収納ラックを押し上げないでください。ロックが破壊する恐れがあります。

▲注意

収納ラックは必ず両手で取っ手を持ち、ゆっくりと操作してください。また、動作の途中では絶対に手を放さないでください。

収納ラックを上げる際は、②の位置【カチッ】という音がする位置まで収納ラックを下げ、ロックを解除してください。ロック解除後、ゆっくり収納ラックを上げてください。

【図1】



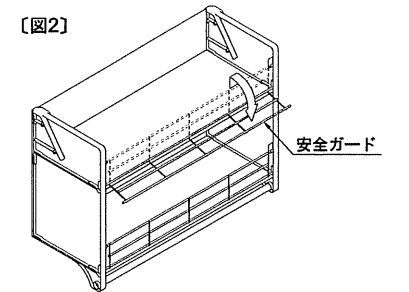
安全ガードの使い方【図2】

安全ガードは、収納物が前に落ちないように設けてあります。上に持ち上げ、前にたおすと収納物が出し入れしやすくなります。

▲注意

操作時は必ず元に戻してください。戻さないと安全ガードが破損する恐れがあります。

【図2】

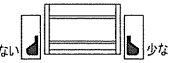


操作補助力の調整方法【図3】

収納量に応じて補助力の調整を行ってください。補助力は3段階の切り替えが出来ますので、収納量に応じて適切な設定でお使いください。

【収納量が0～5kgのとき】

両側のレバーを”少ない”に合わせてください。 少ない



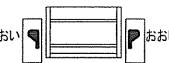
【収納量が6～10kgのとき】

片側のレバーを”少ない”に、他方のレバーを”おおい”に合わせてください。 少ない おおい ※左右逆でも可

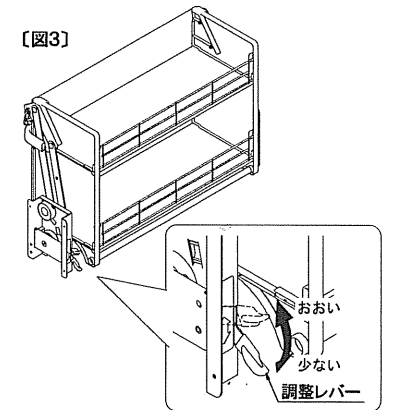


【収納量が11～15kgのとき】

両側のレバーを”おおい”に合わせてください。 おおい



【図3】



▲注意

両側のレバーが”少ない”の位置にあるときは、10kg以上の収納物を載せないでください。収納ラックがいきおいよく下降し、ケガをしたり、機器が破損する恐れがあります。

お手入れ方法

- 日常のお手入れは、フキンでからぶきしてください。それでも落ちない汚れは、中性洗剤をつけてふいてください。その後、からぶきして水気をふきとってください。